

夏の陣を無災害で乗り切ろう

7月1日、全国安全週間、そして、基幹労連「安全衛生対策強化月間」が始まりました。梅雨も後半、蒸し暑い日が続きます。そして間もなく夏本番、私たちが働く多くの職場にとっては、暑熱との戦いといってもいいでしょう、まさに「夏の陣」です。

私たち基幹労連は、昨年、一昨年と毎年20人を超える死亡災害を猛省し、今年こそ、働く仲間から決して死亡災害を出さないとの強い決意をもって1年のスタートを切りました。しかしながら、各職場、労使一丸となった安全衛生活動にも関わらず、すでに11件11人もの尊い命を失っています。

もう、これ以上、家族の悲しみや苦しみ、職場・働く仲間の苦悩を広げるわけにはいきません。死亡災害の連鎖に歯止めをかけるため、基幹労連は7月1日～7月31日を安全衛生対策強化月間と位置づけて「死亡災害の撲滅に向けた対策の確立」「職場におけるコミュニケーション」の充実を重点目標に掲げ、全組織をあげて安全で衛生的な職場環境の確立に取り組むこととしました。

また、“届いていますか？「ご安全に！」に込めた思い”を前面に、「安全と健康」をテーマとした機関紙6月号を発行しています。

組合員の皆さんは、是非、ご一読いただき、自らに置き換えて、行動に移してください。役員の皆さんは、情報媒体として活用し、職場そして管理・監督者の皆さんと語り、仲間の安全と健康を守る決意と行動を起こしてください。

幸いにして、3月26日以降、死亡災害は発生していません。もちろん、このことは各労使一丸となった取り組みと職場・組合員の安全意識と行動がなせるものと信じていますが、『災害に不思議なし、安全に不思議あり。』労働災害において古くから言われ続けてきた言葉もあります。

夏本番はこれからです。大切なことは、気を抜くことなく、一人ひとりがわが身と職場の仲間を守るという決意を持ち続けること。そのもとで、一人ひとり自らの体調管理と、職場における動作前のひと呼吸の実践、そして、仲間同士の声掛けは、みんなで一人を守る行動であるということを胸に刻んでください。

ご安全に！ の挨拶で、元気に出勤・笑顔の帰宅、それは私たち基幹労連が目指す“組合員とその家族の幸せ追求”の第一歩なのです。

ルールを守る・一人ひとりの行動で、「2015年夏の陣」を乗り越えましょう。

今日も一日、ご安全に！

2015年7月1日
日本基幹産業労働組合連合会
事務局長 神田 健一